

# 医療機器関連やロボット・アーム部の仕事を受注

## 5年前から「微細加工」分野に進出 — 志村哲央社長に聞く —

課題となった効率化追求でスーパーG1チャックに遭遇  
志村精機製作所・千葉工場訪問(千葉・茂原市)



志村社長は、スーパーG1チャックを手に取って、精度向上と時間短縮というメリットを強調した

### 「手がける世界は5μ～10μ。加工物を展示会に出展、大手メーカーと付き合う機会に」

今年1月から4人の役員が「総入れ替え」され、業工場の建設に着手。切4代目として志村哲央(のりお)社長が誕生した。志村精機製作所を訪問した。

「微細加工分野は技術が必要とし、これからの日本のものづくりを支えていく領域でもある。協力できる企業や市場開拓を意識して、国内ばかりか、時計業界で歩

### 「ロボドリルで5μの世界を難なくクリア」 芯ずれの確認不要、工具交換時間が劇的に短縮、ビビリ抑制で良好な仕上げ面も

した。

「昨年は会社が創業50周年を迎え、また、私自身もちょうど入社20年を終えてのトップ就任という「記憶しやすい」タイミングでの交代となった」と笑みをほす。

東京大田区で切削加工筋に歩みを進めた。祖父が創業し、哲央社長の父の兄として父という、親族で切り盛りしてきた。

「平成元年に父が社長に就くと、新たに手がけた始めた樹脂加工分野を拡大することになり、本

事務機器やカメラ部品、半導体関連部品のほ

「従来の穴加工や外径加工レベル50μ～100μから、5μ～10μという、単位が桁違う世界に入った。医療関連部品は、試作開発がメインの単体が導入されている。

ユキワ製スーパーG1チャックとの出会いは、およそ3年前千葉工場内で効率化の推進が課題になつてきたときだったそう

先じるスイスを訪問、視察したりする」と言う。

千葉工場内で最も多い設備は、フナツクのロボドリルで、他にオークマ、タカラ機械のマシンニングセンター、フナツクの5軸加工機、東京本社には牧野フライス製作所IQ300と

いた微細加工機や5軸加工機が導入されている。

「地元取引商社にチャックで相談したところ、薦められロボドリルに装着して、1本試してみたいのがきっかけだった。他の条件は同じ、チャックを代えただけで、苦勞していた10μどころか5μの世界が拳に拓けた」と言。



ロボドリルが30台近く設備されている千葉工場

# 保証!

スキワだけ精度を  
しています。

精度をとことん  
突き詰めると、  
コレット式に辿り着く



## 高精度ツリーリングシステム スーパーG1チャック

**YUKIWA ユキワ精工株式会社**  
Precision Grade No.1  
**G1 Super G1 Chuck**  
スーパーG1チャック 検索  
<http://www.yukiwa.co.jp/>  
本社・工場 / 〒947-0052 新潟県小千谷市千谷2600番地1 TEL.0258-81-1111(代) FAX.0258-81-1112  
営業所 / 東京、名古屋、大阪、中国(上海)、U.S.A.